



## 「元オマーン国王夫人、稲美町に眠る」

県立加古川北高校が所在する加古川市の東隣には稲美町があります。稲美町にある東播磨高校の東向かいの向山墓地に「大山清子」の墓があります。

大山清子さんは、元オマーン国王タイムールの妻です。タイムールは、国王の座を捨て、日本人女性と結婚します。清子さんは、結婚3年目の23歳の若さで病没します。現オマーン国王カブース国王の叔母で、二人の子が生まれます。その一人が節子さんで現国王の叔母にあたります。



オマーンとはどういう国なのでしょうか。西アジア

の絶対君主制国家で、面積約 31.2K m<sup>2</sup> (日本より少し小さい)、人口約 260 万人です。首都は、マスカットです。石油ルートとして、著名なホルムズ海峡の航路もオマーン領海内にあります。

オマーンは、東日本大震災の時、たくさんの義援金を送ってくれたことで話題になりました。

お忍びで神戸を訪れたタイムール国王がダンスホールで踊っていた大山清子さんに一目惚れします。結婚を申し込みますが、当時は外国人との結婚には抵抗があり、母親がある条件を出します。その条件とは、「日本に永住する」というものでした。その時点では、大山さん、母親ともに、タイムールがオマーン国王ということを知っていなかったのです。タイムールは、国王の座を退き、大山清子さんと 1936 年 5 月 5 日挙式をあげます。翌年、長女節子さんが生まれます。その時、初めてタイムールがオマーン国王であったことを知ります。

なんとロマンチックなストーリーがこんな近くの地にあるんでしょうか！

ぶらり加古川第 35 号

平成 28 年 9 月